

令和5年3月分	
回覧	親子の防災フェスタ
	大切な命を守るために
	町内全域一斉クリーン作戦の参加について（ご案内）
	琴平町文化協会だより
	琴高通信第25号
	415のわ会報誌
	福祉ことひら

部数が不足している場合は、琴平町企画防災課（75-6711）までご連絡ください。



琴平町母子愛育会主催

親子の防災フェスタ

in 琴平町総合センター

大切な家族・子どもを守るため、親子で楽しみながら
防災知識を深めませんか？
コロナ予防のため、当日はグループを分けてご案内します。

3月21日 (火・祝)

10:00 スタート!
(~12:00終了予定)

消防車が
やってくる!!



消防服を着て記念撮影できます

子どもの応急処置講座

仲多度南部消防署の救急救命士が
いざという時の子どもの応急処置
をレクチャーします。

家庭用防災グッズ の紹介・展示

子育て家庭に必要な
防災グッズを紹介します

災害時子どものこころのケア

災害時の「子どものこころ」への
対応、子どもとのコミュニケーシ
ョン方法などをお伝えします。

日本赤十字社 香川県支部

駐車場は、**町営東駐車場**を
ご利用ください。

(総合センターでの受付時に
無料券をお渡しします)

申し込み
問い合わせ

琴平 0877-75-2552 (真鍋)

榎井 0877-75-0930 (今井)

象郷 080-4031-4416 (近石)

子ども・保健課 0877-75-6719

✉ kodomohoken@town.kotohira.lg.jp

上記のいずれかに

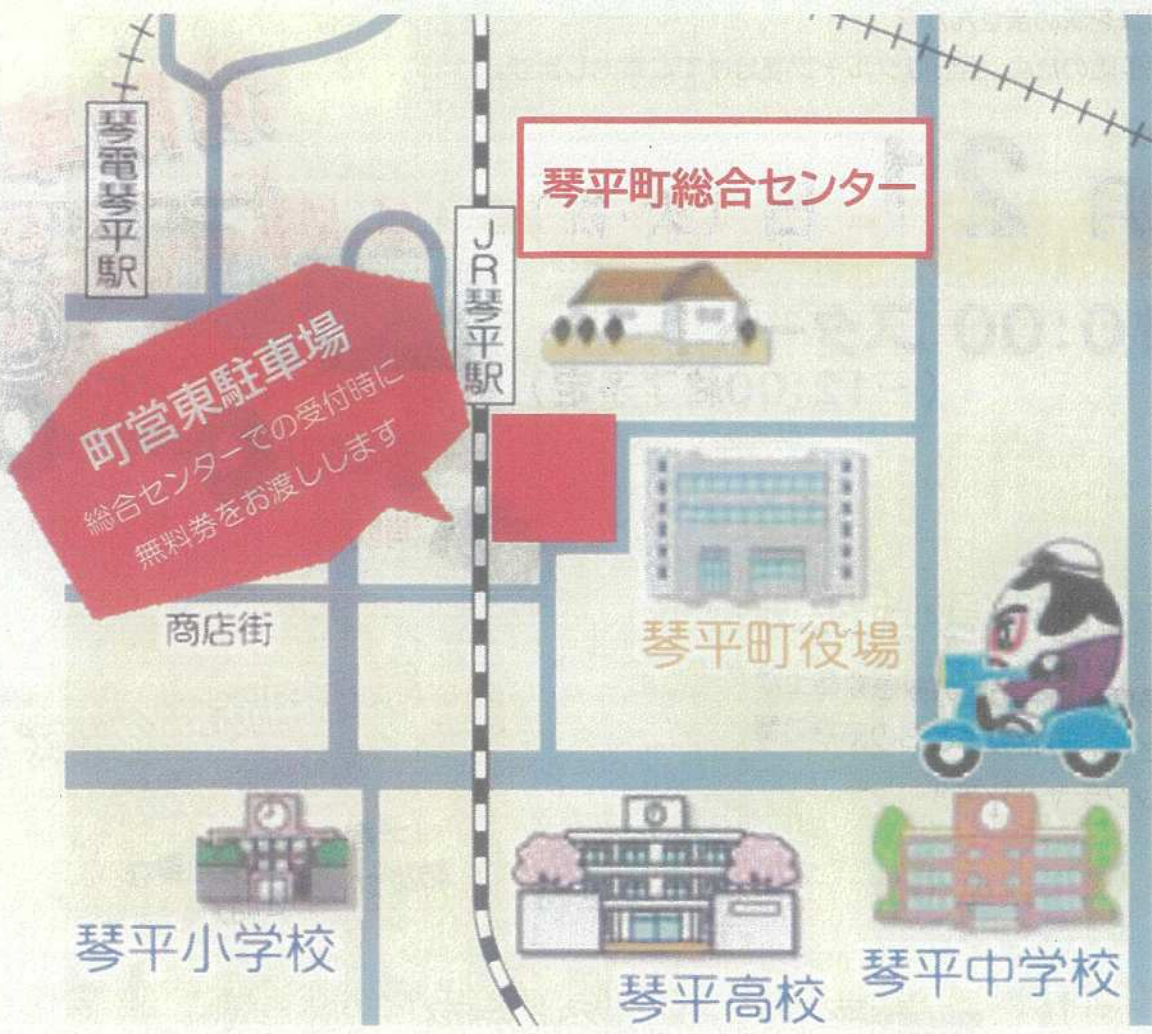
来場予定者の名前、連絡先をお伝えください。

メールはこちらから→





町営東駐車場 案内図



町営東駐車場の利用は、町営回車をご利用のお客様に限り、総合センターでの受付時に無料券をお渡しします。

町営回車 2014年4月現在

琴平 0877-75-2825 (総機) 0877-75-0930 (共機) 新築
 高松 080-4031-4418 (近所) 0877-75-6113 駅前
 高松 080-4031-4418 (近所) 0877-75-6113 駅前

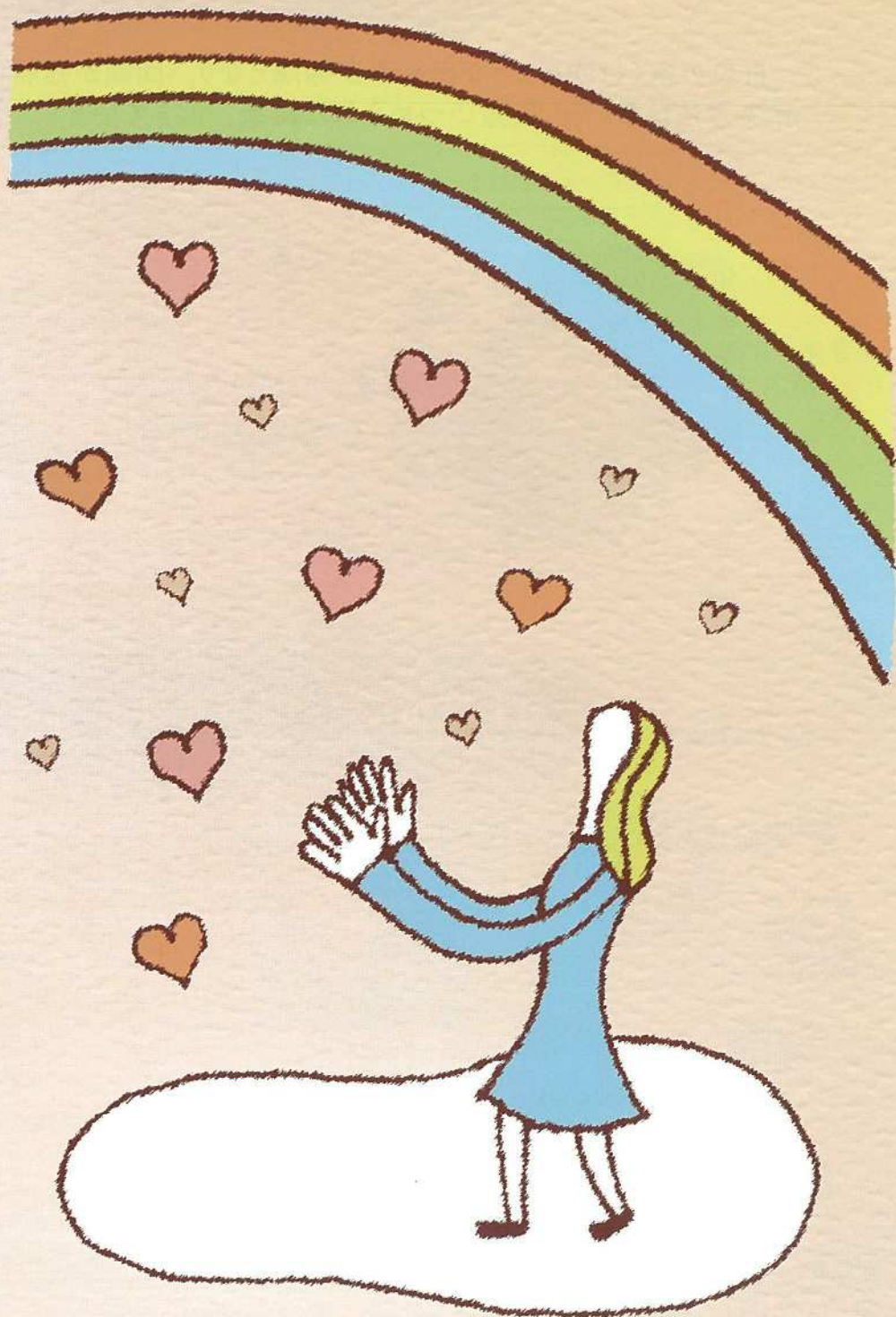


町営回車 2014年4月現在

「もう疲れた」「死んでしまいたい」
そんな気持ち、抱えていませんか？

大切な命を守るために

こころが壊れる前に、ためしてほしい**3**つのこと



人とのつながりが減り、孤独のなかでつらい気持ちを一人で抱え込んでいませんか？

コロナ禍による大きな環境変化により、とくに社会的に弱い立場の女性や若者たちが追いつめられやすくなっています。

「消えたい」「もう生きていたくない」…その気持ち、聴かせてください。

抱えている悩みについて、一緒に考えていきましょう。

自殺の引き金となり得る出来事

自殺の多くは次のような出来事が発端となり、問題が複雑に絡み合い、「自殺以外に解決方法はない…」と追いつめられた結果、起きています。

育児・介護
疲れ

パートナー
からの暴力

雇用問題
(失業・解雇)

いま、つらい状況に
いませんか？

コロナ禍の環境変化は、
とくに女性や若者を直撃しています。

出典：厚生労働省「自殺総合対策の推進に関する
有識者会議報告書」（令和4年）より引用

自殺の前に現れやすいサイン

下記にあてはまることはありませんか？ あなたのこころやからだからのSOSサインです。

極端に
食欲がなくなり、
体重が減少する

感情が
不安定になる

身なりに
構わなくなる

不眠がち
になる

あなたのこころは大丈夫？

これまで
関心のあった
ことに
興味を失う

激しい口論や
けんかをする

自殺についての
文章や詩を
書いたり、
絵を描いたりする

交際が減り、
引きこもり
がちになる

出典：厚生労働省「こころの耳～自殺の予兆への介入」より一部引用・改変

こころが壊れる前に 3つのこと ためしてほしい

1 こころが疲れていることに 気づこう

精神的に追いつめられると、視野が狭くなり、「もう解決方法はない」と考えがちです。

そんなとき、まずは「弱っている自分」に気づいてあげてください（左ページ下参照）。客観的に物事を見ることができ、解決策を考えられるようになります。

つらそう自分があるな…。



テレビに映る自分を見るように、一歩引いた視点で自分の姿を見てみましょう。

2 サポートを求めよう

不安や悩みがあるのに、「迷惑をかけたくない」「どうせ、わかってもらえない」と、一人で抱え込んでいませんか？ 周りには、あなたの思いを受け止めてくれる人が必ずいます。少しだけ勇気を出して、話してみてください。

信頼できる人に話す

相談窓口で話す



家族、友人、
身近な人 など

知らない人だからこそ、
悩みを話せるかも

相談先は裏面へ →

3 不眠を放っておかないで

「不安で眠れない」ことがあるかもしれません。ただし、眠れない状況が2週間以上続く場合は、うつ病が疑われます。

うつ病は自殺のきっかけとなり得る深刻な病気です。不眠など睡眠の異常が続く場合には、早めに医療機関（精神科・心療内科など）を受診しましょう。必要な治療を受けることで、症状が改善します。



困ったときの相談先



電話で相談したいとき

SNSで相談したいとき

こころの健康相談統一ダイヤル
厚生労働省
☎ 0570-064-556



#いのちSOS
NPO法人 自殺対策支援センターライフリンク
☎ 0120-061-338
月・木:0~24時 / 火・水・金・土・日:8~24時




よりそいホットライン
(一社) 社会的包摂サポートセンター
☎ 0120-279-338
岩手県・宮城県・福島県からかける場合 ▶ ☎ 0120-279-226



いのちの電話
(一社) 日本いのちの電話連盟
☎ 0570-783-556 10~22時
☎ 0120-783-556
毎日16~21時 / 毎月10日 8時~11日 8時




チャイルドライン(18歳まで)
NPO法人 チャイルドライン支援センター
☎ 0120-99-7777 16~21時




24時間子供SOSダイヤル
文部科学省
☎ 0120-0-78310


生きづらびっと
NPO法人 自殺対策支援センターライフリンク
月・水・金・土:11~16時30分
月・火・木・金・日:17~22時30分




こころのほっとチャット
NPO法人 東京メンタルヘルス・スクエア
毎日: ①12~15時50分
②17~20時50分
③21~23時50分
月:4~6時50分
毎月最終 土・日:24~5時50分




あなたのいばしょ
NPO法人 あなたのいばしょ



10代20代の女の子専用LINE
NPO法人 BONDプロジェクト
月・水・木・金・土:10~22時




DV相談^{プラス} 内閣府
メール、チャット(チャット相談12~22時)
〈電話でも相談できます: ☎0120-279-889〉




どこに
相談したら
いいのかわからない
とき


支援情報検索サイト
厚生労働省




いのち支える相談窓口一覧
(一社) いのち支える自殺対策推進センター(JSCP)



支援情報ナビ
新型コロナウイルス等感染症
対策推進室(内閣官房)



10代のためのWebサイト Mex(ミークス)
NPO法人 3keys(スリーキーズ)




気づいたら、
声をかけてください

こころのSOSは、自分でも気づきにくいもの。なかには、気づいたとしても誰にも相談せずに、一人で抱え込む人もいます。

だからこそ、周りの人はいつもと違う様子はないかを気にかけて、声をかけてください。相談先につなげることで、救われる命があります。



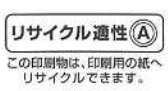
「気にかけている」という
メッセージを伝える

眠れている?

つらいこと
でもあった?

食欲が
なさそうだね

よかったら
話してみよう



各位

琴平町長 片岡 英

青少年育成町民会議
会長 北岡



町内全域一斉クリーン作戦の参加について (ご案内)

向春の候、朝晩変わらず厳寒ではございますが、皆さま方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は、本町環境美化活動の推進につきまして、ご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。町におきましては、「ごみ」のないきれいな町を目指し「春季クリーン作戦」を、下記の日程で実施いたします。つきましては、ご多用の折恐縮ではございますが、ご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

※参加票は当日ご持参ください。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用の上、個々にお越しいただければ幸いです。

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、やむを得ず中止する場合がございます。雨天の際など万一、中止の場合は町ホームページに案内させていただきます。

記

- 日時 令和5年3月19日(日) **午前9時**～10時30分(受付を行った方から出発します。)
- 受付場所 下記のうちいずれか希望する場所となります。
 ○琴平地区 公会堂(正面玄関) 〇五條地区 大井神社
 神事場(南入口) 川向橋南岸
 高燈籠
 ○榎井地区 旗岡神社 〇象郷地区 石井神社
 琴平町役場 榎梨神社
 象郷小学校
- 終了時間 清掃終了後、**午前10時30分までに上記いずれかの場所を目的地**として、お戻りください。(他の場所には職員がいませんので、厳守してください。)
- 服装 清掃作業のできる服装
- 実施内容 町内一帯の清掃(清掃場所は各自治会や各自で決定してください。)
 雨天中止(小雨で不明の場合は住民福祉課環境衛生係へお問い合わせ下さい。)
 住民福祉課 電話 75-6707
- その他 火バサミ・軍手・ごみ袋などは用意していますが、ご自身でお持ちの方はご持参下さい。

(ご記入の上当日ご持参ください。)

令和4年度 春季クリーン作戦 参加票

代表者氏名	電話番号
参加者氏名	最終目的地に○を付けて下さい。
	<input type="checkbox"/> 琴平地区 (公会堂) <input type="checkbox"/> 五條地区 (大井神社) <input type="checkbox"/> " (神事場) <input type="checkbox"/> " (川向橋南岸) <input type="checkbox"/> " (高燈籠)
	<input type="checkbox"/> 榎井地区 (旗岡神社) <input type="checkbox"/> 象郷地区 (石井神社) <input type="checkbox"/> " (琴平町役場) <input type="checkbox"/> " (榎梨神社) <input type="checkbox"/> " <input type="checkbox"/> " (象郷小学校)

琴平町文化協会だより

題字 山野象東 第27号

琴平町文化協会の皆様が、日頃より文化活動や芸術の振興・普及活動にご尽力いただいておりますことに対しまして、厚く御礼申し上げます。

私は、文化に関する業務としまして、これまで香川県教育委員会生涯学習文化財課、栗林公園観光事務所、県民ホール事業部で勤務し、国・県指定の文化財や日本を代表する特別名勝（文化財指定庭園）の保存・活用、さらに文化芸

術団体が行う舞台公演の支援に携わってまいりました。それらを通して、地域の特性に応じた、文化活動のすそ



身近な文化とのふれあいを

琴平町副町長 川上 泰

心豊かに生きる社会を築いていくためには、一人ひとりが文化について考え、文化を大切にする心を持つことが必要

野の拡大や文化遺産の継承・活用が大変重要であると認識したところです。国の文化審議会の答申に、

とありますが、そのためには、より身近な場所で、文化活動に参加し、鑑賞し、創造できる機会が求められています。

また、琴平町の特性を活かして、身近にある歴史的な建造物や伝統的行事などの継承、さらに特色ある文化活動の推進などを進めていくことが、郷土への誇りや愛着を深めることに繋がります。琴平町の特性を活かした、文化活動に触れあう機会の提供にあたって、文化協会の皆様のお力添えをお願いしますとともに、皆様方の今後益々のご活躍を祈念申し上げます。

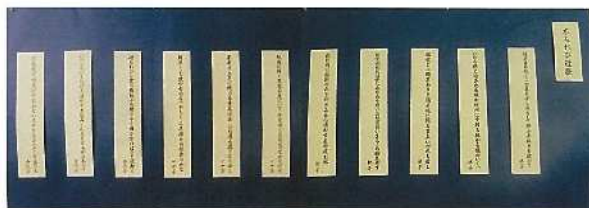


後継者

洋画 高橋てい子 (神明町)

- ★リモート、テレワーク、ステイホームなどの言葉が日常生活での合言葉のようになった。
- ★コロナ禍現象がもたらす思考転換の産物にとまどう。
- ★一方で、各種行事が三年ぶりに復活、再開された気運を喜ぶ声が全国的に広がった。
- ★第四十一回文化祭も三年ぶりにテープカットによる開会式典を開催することができた。
- ★「もうちょっと右かな、いや左か……」賑やかに飾り付けをする風景。出番が近づいて額に汗をかく風景。参加した喜びの余韻を、終わってから後で、感受する文化祭です。





随想 特技の欄

澤井 達明 (六六條)

数年前の大河ドラマ「龍馬伝」伊勢谷友介演じる高杉晋作が、戦場なのに、着流しに三味線を弾きながら指揮を執るといふ有り得ないシーン。でもこれが何とも恰好良かった。

映画やドラマに登場する高杉晋作には三味線と都々逸が付き物。よほどの特技であったものか。


逃亡の身となった高杉晋作が、当地の口柳燕石に匿われたのはご承知のこと。我が家の近所を愛人おうのさんと連れ添って散歩なんぞしたかもしれない、呑象楼で得意の都々逸を弾き語り、その音色がうちの近所に響いたかもしれない、なんて小粋なシーンも想像するのなかなか楽しい。

三味線・都々逸・愛人と逃

進行に調子づいて、「ちとやってみるか」
 動機はいささか不純である。三つ目のワードを実現するにはちと厄介かもしれないが、ところで、子どもの頃から、自己紹介や履歴書の特技欄を埋めるのに苦慮した覚えがある。これといって他人より秀でたものがあるで無し。自信を持って記入するものが何も無かったのだ。

町文化祭のステージなどで、三味線回好会のメンバーと一緒に演奏はしているものの、特技欄に「三味線」と記入するとなると、んー、やはり気が引ける。

高杉晋作なら、ためらわずに三味線と都々逸って記入するのかな？といらんことを想像するも、いやそもそも特技ってどのくらいのレベルからなんって、これまたいらんことを疑問に抱きつつ、躊躇せずに三味線って記入できるくらい腕前になることを期待して、もう少し稽古を続けてみようかな。



第四十一回 琴平町文化祭

作品展示 11月3日～12月13日 ACTことひら
 芸能発表 11月20日 町立文化会館

コロナ禍やこんびらさんは初紅葉。祭り太鼓の音も遠ざかり、長びくコロナも感染確認三年となり新しく変異ウイルスも発生し、増々閉塞感をひしひしと感じる昨今である。今年の勉強の成果の発表。文化の秋の到来である。

第四十一回琴平町文化祭が令和四年十一月三日(木)ACTことひらで作品展示開催。開会式には片岡町長、篠原教育長、山下議長、氏家県議、山神、眞鍋、森藤、吉田、別所、豊嶋各町議などこ米寅の出席を賜り盛大に幕を開けた。

オープニングショーは、こんびら三味線、尺八回好会の菅さん方の弾き語り、「こんびら小唄」などこんびら婦人会の方々とコラボした。

炭坑節、こんびら舟々、会場の皆さんと一つになって歌い、踊り、会場を包み込む暖かい拍手でオープン。

作品発表の部
 一期 書道。
 二期 絵画。
 三期 文芸、書道、写真。
 四期 琴平町地区連合婦人会。
 五期 教育委員会、茶道。

六期 切り絵、絵手紙、華道。教室も休みが続き作品も作れず案じていたが、会場に足を踏み入れると勉強不足と思えない素晴らしい作品、力量感溢れる大作に感動した。

芸能発表は令和四年十一月二十日(日)琴平町文化会館で開催。

前夜の雨もやみ、風もなく穏やかな晩秋の一日であった。こ米寅の皆様は片岡町長、篠原教育長、山下議長、山神、眞鍋、吉田、別所各町議のご祝辞を頂戴した。

午後一時開演、昨年同様、万全のコロナ対策を講じての開演である。

出演者は、ハッピーピアノクラブ、若藤会、気功回好会、フォークダンス、ヒロ、燕石吟詠会、日舞さつき会、ウイスポ、フラスタジオ、尺八回好会、こんびら民謡回好会、坂東流佳津美会、琴平泰慎吟詠会、こんびら三味線回好会、こんびら民謡保存会、琴平婦人会民謡部。

今年もコロナ禍で稽古不足と悩んでいたが、出演者一同は日頃の練習の成果を充分に発揮、次世代を担う子供達の



迫真の演技は会場から大きな拍手が鳴り止まなかった。会員同士の手作りの舞台。老若男女の熱演でフィナーレとなり、こんびら舟々の総踊りは、熱気に溢れた。しかし、私たちはコロナ禍の中でもこんなに幸せなのに、世界の何処かでは、戦争が起こっている。

奇しくも文化祭開催日は、日本国憲法の公布の日でもある。一日でも早い世界の平和を願いつつ、来年も素晴らしい作品、感動ある舞台に出会うことを楽しみに願っている。

(為)



第二十三回

歴史と文学の旅

絵金蔵
岡御殿
野良時計・安芸城跡
土居廓中と武家屋敷
岩崎彌太郎生家



令和四年十月二十三日、琴平町文化協会主催の第二十三回（歴史と文学の旅）は高知県へ。参加者は二十六名。新型コロナウイルス防止はまだまだ油断できないなかマスク着用や手指消毒など対策を万全に二年ぶりの旅である。午前八時にバスで町役場前を出発。高松道・高知道を経由してまず香南市赤岡町の絵金蔵へ。

謎の天才絵師と呼ばれた土佐の絵師・金蔵が、幕末から明治初期にかけて描き残した芝居屏風。その修繕場を描いた絵は、間の中でろうそくの灯りに照らされてこそ、圧倒的な存在感と異彩を放つことで、薄暗い部屋の中で鑑賞であった。
ホテルTAMAIで昼食のあと、土佐藩主が参勤交代や東部巡視の時に使用した安芸

郡田野町の岡御殿へ。敷地内には昭和六十年に県の有形文化財に指定された、御殿・茶の間・土蔵・御成門など書院造りの建物が保存復元され、藩政時代の雰囲気を感じていた。

次に訪れた安芸市では現地ボランティアガイドの案内で、ボランティアガイドの案内で、野良時計・安芸城跡・土居廓中と武家屋敷などを巡った。最後にわが国の近代経済の覚醒期を、豊かな先見性と不屈の精神をもって生きた、明治から今日に至る大財閥三菱を築きあげた岩崎彌太郎の生家を見学し、帰路について。十月十一日から始まった全国旅行支援と地域クーポン券で一人五千円の補助があり、財布にも嬉しい、秋晴れの一日、意義ある研修旅行を無事終えた。

(川)



2022.10.23

コロナ禍で延期になっていた文化協会の高知県安芸方面への旅行がやっと実現した。今回行った所は初めての所ばかりで興味深かった。特に赤岡の絵金蔵は町内の薄暗い酒蔵をアトリエにして芝居絵屏風を描き取蔵、保存しているのには驚かされた。岩崎彌太郎の生家も見られて良かった。

渡辺 佐和子

御用絵師金蔵は贋作事件によって高知城下を追放され、以後十年に渡る流浪を経て叔母をたよって、赤岡の地で芝居絵を描きました。須留田八幡宮の大祭に奉納するため、町の旦那衆が絵金に描かせたものでした。祭りの宵に蠟燭の明りに照らされた修繕場を描いた芝居絵を再現しており、見ている者を圧倒する迫力のあるものでした。

小西 秀雄



岡御殿

岡家の歴史

江戸時代の田野は五人衆と呼ばれる豪商が軒を並べ、とても商業の盛んな場所でした。中でも田野藩随一の豪商が岡家（米屋）でした。岡家の屋号は展示資料に見られる「一入（ひとしり）」です。この文字は田野藩でも飛び抜けた一人を意味すると伝えられています。岡家の祖先は土佐藩主の山内侯に從って泉州（大阪）からこの地に移り、商いを始めました。初代岡徳左衛門から代々の当主が商いに励み、豪商と呼ばれる言を築きあげました。

赤岡町の絵金蔵は町内に残された二十三の芝居絵屏風を保存されていて、美しく、印象に残りました。

ほかにもガイドさんの案内で、岡御殿、野良時計、安芸城跡、土居廓中と武家屋敷など見学して勉強になりました。秋晴の一日を楽しく過した歴史と文学の旅でした。

大橋 邦子



2022.10.23



石川 和子

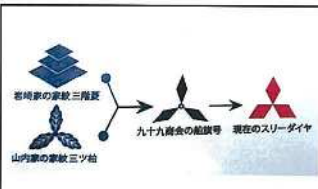
以前より是非訪れたいと願っていた絵金蔵と安芸を旅することが出来感動致しました。赤岡絵金の芝居絵屏風は、間の中でろうそくの灯りに照らされ恐ろしいほど美しく、異彩を放っていて刺激を受けました。

また安芸市ではシンボルの野良（橋）時計等歴史に触れ心が安らぎました。

秋の晴天の日にめぐまれて高知の偉人の里にめぐりあい気分がはれました。民衆文化では絵金さんの迫力ある人情ある人物の表現に元氣になりました。岩崎彌太郎の生家にもはじめて行けてよかったです。

石井 輝夫

三菱マークの由来
岩崎家の家紋「三階菱」と土佐藩主山内家の家紋「三ツ柏」を組み合わせて九十九商会の船旗号がつくられ、ここから現在の三菱マークになったといわれています。
土蔵の鬼瓦に「三階菱」白壁に「三階菱」がみられます。



2022.10.23



10.23



ハッピーピアノクラブ

ピアノは何歳からでも始められる。
初めて手にしたテキストに先生の言葉が書いてあった。そっけなく、やってみよう、決めた。
練習は毎月第一・第三火曜日の午後総合センターで。脳トレにも良いので聴きに来て下さい。

(衣輪 昌子)

切り絵同好会

今年はコロナも少し落ちつき始め教室も再開した。入会してからはや二十年以上になる。
年二回の発表会。琴平町の文化祭と普通寺市美術館の切り絵展を目標に練習している。
第二・第四水曜日。十時から十二時まで琴平町総合センターで。
石井先生の指導で、仲間たちと楽しく過ごしている。

(渡辺 佐和子)

山野書道教室

水曜日は、わたしのおけいこ日である。
友だちと誘い合わせて、「九成宮」を練習し、右払いや縦線に苦労している。
漢詩や実用書にも取り組み、文化祭にも三回日の出品をすることができた。
練習日は毎週水曜・土曜・日曜日。

(神田 さゆり)



坂東流佳津美会

今年より少しずつ発表する機会が増えてきた。
皆様と協力させていただき嬉しく思っている。
その一つに、琴平での文化祭はいろんな方と交流できて勉強になる。
これからも伝統文化である日本舞踊を広めていけるようお稽古に精進してまいりたいと思っている。

(坂東 櫻子)

フォークダンス・ヒロ

今年の文化祭にも、地域おこし協力隊の方が参加。舞台に若さを添えてもらった。
昨年四月より、高口慶二先生のご指導のもと、新しくラウンドダンスに挑戦している。頭と体を使って大変だが、良い刺激になっている。
和気あいあいの雰囲気の中で、琴平町総合センターホールで第二・第四水曜日、十三時三十分から十五時三十分まで、楽しく練習している。

(鈴木 禮子)



泰慎吟詠会

詩吟は大きな声を出すので健康によく、また熱心な先生の指導のもと九十三歳の会員さんも元気に練習している。興味のある方一緒に吟じませんか。
練習は毎週月・木曜日一時から文化会館で。

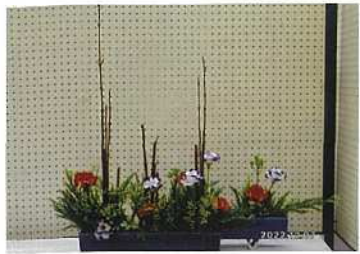
(今井千鶴子)



華月流華道教室

片桐恵美子先生を中心に、毎月第一・第三木曜日、午後二時より琴平町総合センターで練習している。
琴平町文化祭では十二人が生花展に出展した。
小学校の子供達のお花の指導も行っている。
稽古のあとの会話は楽しく話につきない。
一緒に練習してみませんか。お花はいやされず。
楽しいですよ。

(内田 久恵)



ウイソポ フラスタジオ

客席からの温かい拍手に励まされ、わたしたち十四人楽しく発表することが出来た。
今回二度目の参加で改めて感じたのは、出演者が自ら裏方となりお互いに支え合い、舞台を盛り上げている。
琴平町文化祭は手作りの、温もりである。
参加されたグループ、観てくださった皆さんにアロハの心を贈りました。

(古市のりこ)

氣功同好会

入会して一年半くらいになる。まだ、氣功のことも太極拳も十分にわからないが、身体にいいとは思っている。
昨年、氣功は文化祭に参加しなかったが、ことは参加した。
今までのように施設の慰問もなく、少し淋しい気もするが、練習は楽しくがんばっている。

(中田 善子)



若藤会

ことしの文化祭芸能発表は、お天気も良く、多くの人が観に来てくださり気持ちよかった。
若藤会の子ども達も出演した。お師匠さんから、みっちりとお教えられた通り、楽しく舞っていた。
いつもお稽古がすむと和やかに皆とおしゃべりしている。皆様も、一度見に来てくださーい。

(森口 勵子)

双葉会

コロナ禍の影響で、会合はほとんど開いていない。
四国新聞の《俳壇欄》で句友の名前の作品をみつけ、健闘を讃え合っている。
うれしい事に、誰一人休む事なく作句を続けている事だ。紙とペンがあれば、どこでも作れる。手紙にとりくめ長く続けられる。
俳句を生徒の友として楽しみたいものだ。

(佐野 千代子)



木もれび

やさしい言葉を、美しく、やさしく書きましようというグループである。
どうすればいいのかわからず、わたしも仲間入りした。
考えられなかった文章も、書き始めた。
短歌、川柳のスケッチにも心動かされ、庭の花などにも話かけるようになっていく。
皆様も、どうぞ一緒に練習して下さい。
楽しくお話しして、きれいな文章を書きましよう。

(石川 アヤ子)





パステルセブン

主婦の絵日記はお喋りと共に始まる。四季の野山に出てビクニク気分までポイント探し、各々が感じた季節感を語りながら絵筆を握る。
やがて皆、風景に溶け込み静かな時が流れる。
門脇先生の丁寧なご指導のもと、心で感じた空気感を具象化していき。月二回の火曜日は至福のひとつとさだ。
(藤村 洋子)

こんぴらコーラスグループ

三年前の令和二年二月二十八日。コンサート開催の二日まえ、コロナ禍による突然の会場使用禁止。
それまでの練習の成果が水の泡の如く消え去った。
それ以後、長期の練習中断を経て、断続的にとは言え、練習に練習を重ね、本年三月二十六日に同じ内容のコンサートを開催予定である。
乞う、ご期待！
(大西 義美)



燕石吟詠会

詩吟の良いところは、大きな声で詩を吟じ、先人たちの思想や、先見性をかえり見ながら多くの人たちに感動を伝えられることと思う。
燕石の残した多くの詩を吟じる事で遺徳を偲ぶことが出来るので、吟じ続けて行きたいと思う。
一緒に練習をしませんか。
鈴木先生の熱心なご指導のもと、私たちの吟詠を聞いて下さい。
練習日は毎週金曜日。
午後一時三十分より。
榎井公民館で。
(今井 義明)

四地区連合婦人会

毎年、三月のひな祭りの時期がくると、私たちの活躍の場がやってくる。
町内の七十五歳以上の一人暮らしの方に、ひなのお寿しを作る。
美味しく喜んで食べていただくために、心を込めて何日も前から計画する。
私もこの活動に参加、まだ一年生であるが、やっとなぜか慣れてきた。
七夕飾り、小さい子どもの生活活動にも色々と心を配り、忙しくボランティアしている。
(加治 勝子)



榎井婦人会

美術倶楽隊は「健康な体には良い食べ物、健康な心には芸術が必要」を合言葉に三年前に結成。
会員は五十四名。活動は、アクトの展示を一年間鑑賞し記録していくこと。
鑑賞へのご褒美は、次の年の町文化祭に自慢の絵ハガキと一緒に展示できること。そのハガキについての渾身の説明書きは、自己表現の場となっている。
(池田 町子)



青澄かな書道

今般、わたしたちは活動を終わることになった。かな書道の楽しさと、奥深さを学び、楽しいおしゃべりに花を咲かせたり、みんなで作品展に出かけるなど有意義な時を過ごすことができた。
根気よくご指導下さった松岡先生、門脇会長を始め、文化協会の皆様に大変お世話になり感謝申し上げます。
(森 悦子)

象頭かな書道同好会

山野弘子先生の丁寧な指導を受けて、万葉集の練習をしている。
歌の説明を詳しく興味深く教えてくださり会員は自然な態勢で筆が進む。
文化祭では作品作りに励み、毎年達成感を味わっている。
練習日は第二・第四金曜日。午後一時半より三時まで。
琴平町総合センター講座室。
(大西 淑子)

ペン画教室

木曜日一時半総合センター(さあ書くぞー)
気持ちを入れて始めるがなかなか進まない。
先生に一言アドバイスをいただくと不思議と筆が進む。
そのうち話はずみアツという間の三時間は楽しい。
月二回だが文化祭めざして作品作りにはげんでいる。
(秋田 治子)



尺八同好会



わたしたちの会員は現在六名である。
皆元気で毎週金曜日に榎井公民館で、新しい曲にも挑戦しながら、練習に励んでいる。
この二年間は、新型コロナ対策の影響で発表の機会が少なく淋しい思いであった。
今年はずいぶん市や琴平町で文化祭が開催され、演奏会に参加することができ、生き甲斐を感じている。
(山本 保)

目舞さつき会

今年は三回もイベントでおどりを披露できた。
最後は文化祭で締め括った。舞台にあがる前はいつも緊張する。曲が流れてくれば自然に体が動く。
お稽古の成果が出せるようにと願う。終われば一安心。
また新しいおどりに挑戦してきたが意欲的に何かに集中できることは楽しく元気になる。
木曜午後一時半からお稽古。
のぞいてみて下さい。
(早月 茂美)



こんぴら俳句同好会

岡田先生と四人の会員で第二・第四火曜日、一時間半から榎井公民館で俳句の会を楽しんでいる。
頭と心の活性化にゆいので一緒に出来る人を求めている。日本の心を自分の中に発見できるだろうか。
(名賀 保英)

こんぴら民踊同好会

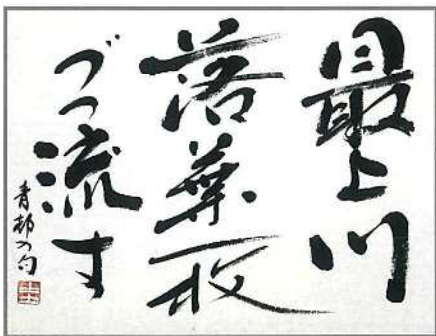
わたしたちは毎週月曜日に一時から三時まで文化会館で練習している。おたがいに年をとっての練習だが、健康のために楽しく踊っている。
皆様も気軽に仲間入りしてみませんか。ひとりでも多くのお入会お待ちしております。
(大林 孝子)



紙上作品展



ちりめん細工「わらべ」
宮崎 積子 (栄町)



書「最上川落葉一枚づつ流す」
青部の句
北山 圭子 (横瀬)

いろいろの会



[21]

立春の前日、総合センターで練習をしている、絵手紙教室いろいろの会におじゃましました。

講師は石井輝夫先生。季節の花、静物など日常生活の中から好きなものを描く。大切なことは描きたい題材をドーンと大きく描くこと。顔彩（にかわりりの絵の具）と墨、筆で、言葉は自分で選んで書く。

絵手紙道とは
「へたでいい、へたがいい」
いろいろの会の作品は、年に数回、アクト、百十四銀行のロビーなどに展示する。



「どこの講座も同じだと思うが、高齢化による会員の減少には困っている」と石井先生は憂いておられた。
第一木曜日
午前十時より
総合センターで練習
(横)



こんびら民謡保存会

文化祭開会には、三味線の音色に合せ、こんびら舟々の踊りを披露させていただいた。芸能発表の当日、一緒に練習を重ね指導下さった先輩たちに迷惑をかけてはいけない思いで頑張った。
ファイナレで会場の方々と一緒になってこんびら舟々を踊ったことは、忘れられない。これからも、練習を続けていこうと思う。

(菅納 英子)

絵遊同好会



第二・第四水曜日の夜に文化会館の二階で行っている。四季折々の花・果物・野菜や行事など自由に書いている。じょうずに書けなくても良いので気楽にできる。切り絵もあり変化があつて楽しい。

わからない時は、直接先生のアドバイスを受けられる。

(大野 明美)



随想

昭和二十年八月のこと



荻田 冷子 (富士見町)

ウクライナの凄惨なニュースを目にするたびに胸が痛み、七十五年前を思い出す。当時、朝鮮羅津の町で女学校へ入学し、初めての夏休み中の八月六日、突然、ソ連軍の空襲で防空壕生活に。

同九日、満鉄社員の家族は満州めざして避難することになり、父は国境警備隊に召集された。

弟、妹、産後十日目の母と赤子、私の五人で杜宅の皆と隊列を組んで出発行進。三歳の妹を背に、首から布で両脇へ炒り米、水筒、位牌、おむつなど持てるだけの荷物を持って必死で歩いた。

岩場の登り降り、木や草をかき分け、川では幼児は男の人が肩車で何回も往復。他の者は手をつなぎ荷物につかまって流されないように渡った。

三晩野宿し、会寧に着き貨物列車に乗って国境を越えた。国境の駅での大空襲に多くの犠牲者が出た。家族もバラバラになり、皆が行く方へ一晩中、線路上を歩き続け、再び列車に。そこで母と会えたが弟は行方不明。やっとな順に着いたのが同二十一日。この時はじめて終戦を知った。

取容所から避難列車の着く駅へ母は毎日通って、八月末に弟にめぐり会って。社宅で近所だったご夫妻がああ空襲の最中、弟が一人で居るのを見つけ、連れてくたさったとのこと。感謝です。

十月の中旬頃、命からがら父が私たちの元へ帰って来た。母は安心したのか、その一週間後に衰弱死。すぐ赤子も亡くなり、父と四人で一年あまり過ごし、引揚船で帰国した。今、ウクライナの子供たちが危険な目にさらされている。どうか無事で、この紛争が一日も早く終わることを心より祈りたい。

世界中で戦争反対の声が高まり、大きなうねりとなって、プーチンの脳内と心の中が正常に戻ることを切に願う。

入会のおすすめ こんぴらの文化を広め さらに高めましょう

会員募集中
(年間会費)

- ・個人…………… 1,000円
- ・団体…30人まで 3,000円
- 31人以上 5,000円
- 101人以上 10,000円

・申し込み先
琴平町教育委員会事務局内
琴平町文化協会
(75) 6716

アクト ACT こんぴら

令和4年の利用状況
(令和4年1月～令和4年12月まで)

期 間	展 示 内 容	
1月15日 ～1月25日	琴平高校芸術祭	273人
3月7日 ～4月5日	ビーチクラブ切り絵展	184人
4月7日 ～4月18日	こんぴら歌舞伎お練り 写真展	175人
4月19日 ～4月25日	蒼の会 水彩画展	119人
4月29日 ～5月16日	都村忠佳 油彩画展	387人
5月19日 ～6月3日	ねぶた祭り展	2,111人
6月5日 ～6月19日	写団KEN写真展	470人
6月21日 ～7月10日	牧野富太郎展	608人
7月12日 ～8月1日	絵手紙展	285人
8月5日 ～8月7日	原爆展	75人
8月8日 ～9月20日	琴平の祭り写真展	1,087人
9月22日 ～10月11日	水彩画展	382人
10月13日 ～11月1日	きらり日本画五人展	468人
11月3日 ～12月13日	第41回琴平町文化祭 (作品展示の部)	1,232人
12月22日 ～12月25日	歳末大売り出し抽選会場	1,361人
12月27日 ～12月27日	凧展	42人
合 計		9,259人

雑 報

茶話会

令和四年最後の講座は茶話会となり、係のお世話で巻きずし、お菓子、みかんの用意もできました。そこにKさんからサンタさんの折り紙が配られ皆大喜び。次は薬剤師のFさんから病氣、薬、栄養の話聞き、認知症予防のため一日の計画・日記を書くことを教わった。その次はHさんから腰かけたままのストレッチ体操を教えてもらう。何と気持ちいいことか！皆感動。そのあと県名クイズ、外来語紹介もあったが、圧巻はKさんの終活により出たブランド品バッグのくじ引き。それぞれ全員に当たり皆大喜び。

寒さも忘れ帰路に着いたのである。

(山)

結 核 上 云 々

令和四年度は、新型コロナウイルス感染症発生から三年、ウイルスが次々と変異して、感染防止対策の益々厳しいなかでの協会活動でした。

その様な状況下でも感染防止対策をとりながら、年度半ば頃からは行動制限も緩和され、旅行支援制度の施行等もありました。

琴平町文化祭は、新型コロナウイルスの流行以前と同様に、観客数など制限のない開催となり、又、三年ぶりに〈歴史と文学の旅〉も実施できました。

昨今ではマスク有無の生活が取り沙汰されておりますが、会員の皆様が各々ご健康に留意され、なお一層ご活躍されますようお祈り申し上げます。

編集部一同

編集委員

- ◎ 門脇 俊文
- 大西 文子
- 川上喜久子
- 為廣 幸子
- 堀家 七子
- 山野 弘子
- 横関寿眞子

◎印は編集責任者

発行日 2023年(令和5年)3月10日
 発刊所 〒766-0004 香川県仲多度郡琴平町榎井891-7
 琴平町教育委員会事務局内
 琴平町文化協会
 TEL 0877-75-6716
 FAX 0877-75-4120
 編集兼発行者 門脇 俊文

一月十五日を、小年・二番正月と称ぶそうな。霜降る予報に寒風吹荒れる。琴平町役場より東北へ歩み、古き時代の称名。象郷村苗田上櫛梨宮前廻り訪うてみる。町内なれど片田舎の風情。大歳神社の鳥居を潜る。境内にお社多くある。先ず、大歳神社の縁起に頷いてみる。その昔、景行天皇の王子神櫛王が討伐戦勝を祈願した折翁現われ(大麻・大歳の二神あり)と宣う。と、現・善通寺大麻神社古記に識されている。

上櫛梨の地名にも神櫛梨の御名による秘めた由緒がある。近世・丸亀藩主は金毘羅参詣の途上には大歳神社へ参拝奏幣され、遙か遠い塩入村のお旅所まで、百七基の鳥居を寄集されている。

こんぴら散歩 ②5

大歳神社 辺り

(象郷上櫛梨)



大歳神社。医薬・呪いの神様に大歳神社は民間信仰で六行だけの紹介だった。心ならずも感じるのは、この頃大歳様は令和につながる神様飾りの支度をされていたのだから。しきりに、そう想いたい。拍手して、下櫛梨へ歩いて行こう。雪雲が広がっている。



咳をすることを「たぐる」と言うこんぴら言葉があるが、方言ではなさそうである。

(堀)

令和四年度も終了に近づき、無事卒業生を送り出すことができました。地域の皆様には日頃より生徒達を温かい目で見守り、また、様々な場面で励ましていただきありがとうございます。今年度も新型コロナウイルス感染症の収束は見られず、感染防止の観点から学校閉鎖や学級閉鎖となり、ウイズコロナの風潮が大きく変わってきたことで、予定されていた学校行事のほとんどを実施することができましたが、異種武道大会と文化部等公演会のように感染拡大により直前になって中止を決断せざるを得なかった行事もありました。楽しみにしていた生徒達のことを思うと残念でなりません。

さて、今年度開催された大きな行事といえば、やはり、選手として剣道部、なぎなた部が本校からは、多くの生徒達が高校生活活動委員や補助員として各競技を支え、大会の成功に貢献してくれました。特になぎなた競技においては丸亀市が会場となり、本校から出場した選手も入賞を果たすなど活躍しています。また、郷土芸能同好会が全国高等学校総合文化祭に香川県代表として出場するなど活躍しています。

そして、地域連携という点では、金毘羅ねぶた祭りで昨年度生徒達が制作した琴高ねぶたが、本年九名が認定講師となって、まんのう町立高篠小学校で薬物乱用防止教室を行ったりしました。また、十二月には一、二年生でクリンアップ大作戦として琴平駅周辺や公会堂、神事場等の清掃活動を行いました。このほか、琴平道場においても地域の皆様との協力を得ながら、生徒達は日々学び続けており、次年度においては、深めて参りたいと思っております。その為にも、この「琴高通信」を介して本校の様子を少しでもご覧いただき、今後とも本校の教育活動に対しご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



校長 水兼 博士

★ 琴 高 通 信

第25号

香川県立琴平高等学校
香川県仲多度郡
琴平町142-2
電話0877(73)2261

剣道 全国選抜大会県予選

男子団体 優勝

(井上康太郎・新名亮夫・北山修悟・須和栄心・片桐陸叶・新名海人・多田羅誠)



2022年 全国高等学校総合体育大会(四国インターハイ)

なぎなた 個人 三好桃花 ベスト16

剣道 男子個人 井上康太郎 ベスト16



剣道

男子団体 準優勝 (松川翔音・中尾優作・井上康太郎・新名亮夫・北山修悟・須和栄心・片桐陸叶)

個人 準優勝 井上康太郎

第3位 中尾優作 新名亮夫

女子団体 準優勝 (長尾美咲・宮本奈々・黒川文佳・今田心那・北野莉子・福井花・井口こころ)

個人 優勝 宮本奈々 第3位 黒川文佳

なぎなた

団体 優勝 (三好桃花・芋坂明星・石田千遥・大西亞央葉・垣内泉澄・今井咲里・宮本音々)

演技 優勝 三好桃花・垣内泉澄

2位 今井咲里・芋坂明星

3位 加藤希愛・石田千遥

個人 優勝 三好桃花

3位 垣内泉澄 宮本音々



紙面の紹介

- ◆ 一面 インターハイ・県大会
- ◆ 二面 四国大会・県新人大会・団体出場
- ◆ 三面 琴高ねぶた・全国総文祭・薬物乱用防止教室・琴高芸術祭
- ◆ 四面 クリーンアップ大作戦・全国高校生ホームプロジェクト入賞




郷土芸能同好会 出演 全国総合文化祭

芸能同好会は、8月2日～4日に行われた全国総合文化祭（東京大会・練馬区立練馬文化センター）の郷土芸能部門に出演し、「こんぴら船々」の演目を披露した。地元琴平の踊りで観客を楽しませた。


琴高ねぶた 再び

5月27日～28日に開催された「四国金毘羅ねぶた祭り」に、本校生が参加した。生徒会役員を中心に昨年度制作した「琴高ねぶた」を引きながら琴平町内を練り歩き、大勢の見物客に披露した。




薬物乱用防止教室

11月14日、まんのう町立高篠小学校で行われた「薬物乱用防止教室」で2年生9名が講師を務めた。講師の生徒は1年生のときから教育講座を受け講じており、小学生に対して写真や説明でわかりやすく薬物乱用の危険性について伝えた。



琴平高校芸術祭 開催



琴平高校芸術祭が、今年1月20日～30日 ACT ことひら（琴平町立ギャラリー）で行われた。華道、家庭、写真、書道、美術、JFK（人権フォーラム琴平）の生徒による作品が多数展示された。琴高生による多彩で見ごたえのある作品が揃った。

四国選手権大会 なぎなた競技

団体 2位 (三好桃花・芋坂明星・石田千遥・大西亜央葉・垣内泉澄・今井咲里・宮本音々)
 個人 優勝 三好桃花 2位 垣内泉澄 3位 宮本音々
 演技 優勝 三好・垣内 3位 加藤・石田



国民体育大会 四国ブロック大会

剣道 男子団体 準優勝 (県選抜) 中尾優作, 井上康太郎, 新名亮夫

2022年 県新人大会

なぎなた
 団体 優勝 (垣内泉澄・今井咲里・加藤希愛・宮本音々・山下倅加)
 演技 優勝 今井咲里・宮本音々
 2位 加藤希愛・垣内泉澄
 個人 優勝 宮本音々 2位 垣内泉澄
 3位 今井咲里 加藤希愛

剣道 男子個人 優勝 井上康太郎 四国新人大会優勝
 第3位 北山修悟 須和栄心



弓道
 男子団体 3位 (横田琉翔・嶋田光陽・嶋田晴陽・家田 稜・佐々木優弥・森内瑠蘭・杉本篤哉)
 四国新人大会 3位
 女子個人 3位 日裏葉奈

ボクシング
 女子バンタム級 2位 山崎優空



男子バレー部 秋季西讃大会 3位



陸上部 中讃地区大会
 やり投げ 優勝 池田 遥
 2位 佐藤美凧
 3位 浮田美羽
 女子総合 2位



国民体育大会 出場 (いちご一会とちぎ国体)

剣道 少年女子 宮本奈々(大将) 団体4位入賞
なぎなた 少年女子 三好桃花・垣内泉澄・宮本音々
 三好・垣内 6位入賞



クリーンアップ大作戦

12月8日、地元への感謝の思いを込めて、クリーンアップ大作戦を行なった。2年生が修学旅行で出かけていたため、1、3年生での実施となったが、JR琴平駅周辺、神事場、いこいの郷などを分担して行なった。落ち葉拾いや草抜きなど、友達と協力しあって、積極的に取り組んだ。きれいになった琴平のまちを見て、大きな達成感と喜びを感じた。



とらすとK 神戸訪問再開

阪神・淡路大震災の被災者支援活動を行う「とらすとK」の生徒が、7月23日と2月4日の2回、神戸を訪問し、被災者と交流会を開いた。昨年、一昨年は、コロナ禍で訪問を自粛していたため、2年ぶりの訪問となった。お互いに近況を報告しあいながら楽しい時間を過ごし、今後も文通や交流活動を続けていきたいという思いを新たにしました。



全国高校生ホームプロジェクト入賞

第43回全国高校生ホームプロジェクトコンクール（全国高等学校家庭クラブ連盟主催）で、2年生の兼若楓花さん（「祖母のアクティブエイジング大作戦！～大好きな祖母への恩返し～」）が、特別賞（東洋大学賞）を受賞しました。



琴平高校公式インスタグラム 始めました

ここでしか見られない
琴高の魅力をぜひご覧ください



琴平高校ホームページ



YouTube 琴高チャンネル

絵本文庫 どり〜む



子育て支援グループ

2023.3.1 発行

こんにちは 私たちは、子育て支援グループの“よいこ415のわ”です。

こんぴらさんの参道近いところにある国の登録有形文化財である琴平町公会堂の一室をお借りして絵本文庫「どり〜む」を開館しています。

象頭山を背景に四季折々の豊かな自然を楽しめる環境の中で、本を手に思い思いの時間を過ごすことができる憩いと交流の場所として親しまれ、今年で11年目を迎えます。

“地域で子育てを楽しもう！”を合言葉に、おはなし会では、読書の楽しさを知ってもらうのはもちろん、季節の遊びや伝承遊びを取り入れ、親子と一緒に楽しめる工夫をしています。

親子で楽しむ絵本の時間は、きっと子どもたちにとって特別な時間に違いありません。

これからも、地域の中にある“みんなの居場所”として育んで参ります。

絵本文庫「どり〜む」は、今日も元気な子どもたちの声がします！



魅力的な絵本の世界へ

琴平町教育委員会教育長 篠原好宏

字が読めない子や、まだしゃべれない子ですら楽しめる絵本。子どもたちは、自然と物語に入り込み、冒険し感動し、現実だけでは不可能なほどたくさんの経験をします。時には、大人の心に寄り添い背中を押してくれ人生観を変えてくれるのも絵本です。悩んだり弱っていたりする人の心を貫き包み込んでくれる絵本。絵本は、すべての人にとって、とても魅力的なものです。

世界観や表現が無限に広がる絵本の魅力を体験するため、子育て支援グループ“415のわ”の皆さんが取り組み、みんなの居場所として開館されている絵本文庫「どり〜む」へあなたも一度、立ち寄ってみませんか！

415のわは、
おはなし会を通して様々な取り組みをしています



「トビバツ」大型絵本 田島正三 (偕成社)



「やさいのがっこう キャベツくんおはなになる？」
なかやみわ (白泉社)



「わたし、くわがた」
作：得口文久
絵：たかはしきよ (福音館書店)



「はくぶつかんのよる」
文・絵：イザベル・シムシール
訳：石津みひろ (岩波書店)

「おやみとおはよりのあいだ」
スギヤマカサノ (めぐるむ)



「ハロウィンのかくれんぼ」大型絵本
いしかおこうじ (オブラ社)

季節を
学ぶ

4



お花見おはなし会&お茶会
2018年実施風景

公会堂の庭は四季折々の自然が楽しめます！

セミをとるぞー♪



2022.8.21 夏休み企画！
わたしの町に住む生き物 おはなし会
「もっと知りたい！虫・鳥・動物たち」



琴平にはたくさん
の固有の生き
物があるよ！

森の案内人
ザッキー！



みんなステキ！
仮装したお友達と一緒に！



おばけ
ポシエツ
作ったよ！

季節を
あそぶ

季節を
感じる

9



輪ゴムを使って「射的」や「金魚すくい」に挑戦！
おまつり気分を深めました！

2022.9.10 お月見おはなし会



「夜のおはなし会はいつもの雰囲気と違うな〜」

2022.10.30 ハロウィンおはなし会

パネルシアター
「今夜はハロウィンナイト」

♪ トリックオアトリート
トリックオアトリート ♪
キャンディ・クッキー・チョコレート♪

暗闇に浮かび上がるオバケにみんなビックリ！



リズムベルを使って「あわてんぼうのサンタクロース」を
みんなで歌ったよ！



2022.12.18 クリスマスおはなし会 (楽集館にて)
あわてんぼうのサンタさん登場！！

サンタとトナカイのハンドベルキットをプレゼント！

親子の
ふれあい

自然を通じた遊びの中から季節の変化を感じて
ほしいと、季節の遊びやイベントを実施し
ています。

自然の美しさや不思議さに気づくことで、子
どもの好奇心や探究心はグンと広がります。
豊かな心を育むきっかけづくりをお手伝いし
ています。

紙芝居「まるいもの な〜んだ」
とよたかずひこ (童心社)



「おつきまかせのパンケーキ」
真珠まりこ (ほるぷ出版)



「わごむまつり」
つきおかゆみこ (小峰書店)

「いろいろのじん」
作：エルヴェ・デュレ
訳：谷川俊太郎 (オブラ社)



「ぐりとぐらのおきまぐさ」
作：中川李枝子 絵：山崎百合子
(福音館書店)



「クリコ」
作：シゲタサユカ (小学館)

「クリスマスのふしぎなはこ」
作：長谷川楓子 絵：青藤幾行
(福音館書店)



こちらで紹介した絵本は、おはなし会で読んだものです。



愛知県出身で琴平町在住の作家 上宿歩さんから自身の著書である絵本を寄贈いただきました。

本を読まなくとも人は活して行けるもの。
私自身が嘗てそうであったように。

しかし、問題は行き詰まった時です。

自分が何一つ真剣に考えてこなかった事実
に打ち拉がれます。

そして、あらゆる物事には、正否なぞ有る
訳が無いのだと知ります。

だからこそ、自分独りで考え、導き出す他
に方法は無いのです。

考えるという行動への切っ掛けに、加え、
言葉の力を改めて憶い出す為にも、先ずは気
楽に一冊。

末筆乍ら、本という存在そのものが、皆さ
んに取って、何某かの一助となります事を。
上宿歩



「あたしのなみだとねこのにじ」

文：上宿歩 絵：坂道なつ（文芸社）



「わけっこ」

文：上宿歩 絵：坂道なつ（文芸社）



心あたたまる絵本です。

絵本文庫「どり～む」、まちじゅう図書館
（もぐもぐ店舗前の本棚）で読むことが
できます。
貸出を行っていますので、どうぞご家族
で読んでください。



匠の学舎の皆さんから手作りブックスタンドを寄贈いただきました。
建築にまつわる様々な技術を学ばれています。



表紙が見えるブックスタンド！
子どもたちが手に取りやすく、重宝しています！



廃材を利用して
作っています！

新刊が入りました！！



「伊藤忠記念財団 2021 年度子どもの本購入費助成」

「明治百年記念香川県青少年基金 子どもの読書推進活動支援事業」

上記の助成事業において絵本・大型絵本・図鑑・児童書・子育て関連書籍を購入しました。

貸出を行っていますので、ぜひお気に入りの一冊を探しに来て下さい。

「23 が 60 読書運動」の家庭読書にもご利用ください。

家族みんなで読書を楽しみませんか！

皆さんから回答いただいたアン
ケートを参考に選書しました！



絵本文庫 どり～む（琴平町公会堂内）

琴平町 975 番地 1

毎週 日曜日 10:00～12:00

第1 水曜日 10:00～12:00

※開館日時は、変更になる場合があります。

415のわ 事務局 琴平町地域福祉ステーション内

電話 0877-75-1371

E-Mail 415nowa.ma@gmail.com



この広報誌は、赤い羽根共同募金の
助成により作成しています。

編集発行/
社会福祉法人
琴平町社会福祉協議会
仲多度郡琴平町榎井891-1
TEL 0877-75-1371
E-mail info@k-wel.or.jp
HP http://www.k-wel.or.jp

福祉 ことひら



2023

3



- ②③ … 令和5年度 ことひら社協 1年間の行事
- ④⑤ … 地区ネット活動紹介
・楽集館あったかネット ・五條互助ネット
- ⑥ … お宝人材 共同募金協力法人
- ⑦ … 事務局通信 シャントセナ
- ⑧ … 琴平応援プロジェクト「みんなの掲示板」
善意の寄付 収集ボランティア



今月の
特集

令和5年度

ことひら社協 1年間の行事

令和5年度 ことひら社協 年間行事



琴平町 社会福祉大会

地域福祉を考える住民大会です。



チャリティー 作品即売展

収益は、こども・高齢者・障がい者、生活のしづらさを持った人の支援などに利用されています。



おせち料理

民生委員さん との懇談会

“地域で安心して過ごせる”ために支援が必要な住民さんの情報を共有しています。



賛助会費

一般会費とは別に社協事業に賛同した個人にお願いしている会費です。




赤い羽根 共同募金

毎年10月～12月が運動月間となっています。「みんなでささえ合う地域づくり」を目指して募金をお願いしています。

令和5年度 年度の予定

特別会費

町内外の商店、企業、事業所等にお願いしている会費です。

日本赤十字募金

1世帯500円のご協力をお願いしています。災害支援など全国・町内の日赤活動を応援します。

一般会費

1世帯500円の会費をお願いしています。ほかの会費と共に地域の方を笑顔にするために使わせて頂いています。

ふれあいデー

地域福祉懇談会

民生委員、自治会長、福祉委員で集まって地域の課題を共有し、地域福祉の推進につなげています。



来年度も宜しくお願いします。





芳澤直起さん

平成30年7月の西日本豪雨で想定外の洪水や土砂災害が起きたことにより、金倉川が中央に流れる五條地区では「満濃池決壊による想定外の大水害」が現実になったとき、どのような対応や対策をしていくかをずっと話し合ってきました。

昨年11月、香川県立ミュージアムにて満濃池の歴史に関する展示がされたことをきっかけに、満濃池についての見識をもっと深めようと、香川県文化振興課副主幹・芳澤直起さんを講師にお招きし、「香川の震災と満濃池決壊 人々はその時どのように行動したか」という演題でご講演いただきました。

嘉永7年(1854年)6月14日に讃岐地方で強い地震(伊賀上野地震)が発生しました。その後、満濃池に水漏れが見られ、7月9日に堤防が決壊しました。木製から石製に交換した底樋が大地震の影響でゆるんだことが決壊の原因だったようです。

決壊当時、満濃池は3割程度の貯水量でしたが、琴平町では大人の腰まで浸かるくらいの水が押し寄せ、家15軒が流されました。

3割程度の水でこれ程の被害がでたのであれば、満水時はどれくらい被害が出るのでしょうか。歴史を学ぶことで、より現実のこととして考えることができました。



今回の講演で学んだことを活かし、五條互助ネットでは今後も「満濃池が決壊したら」と想定し、活動を続けていきます。



感心する事ばかりでした。
貴重なお話ばかり
ありがとうございます。



参加者の声

満濃池が決壊した場合、
どのように対処すればよいかという
具体的な対応策についてのレクチャーがあると
より良い内容となったと思った。
歴史資料が残っていることに感激しました。
今後も伝えていってほしいと思います。



満濃よりも琴平の方が
被害が大きい事に驚いた。
3割しか水が入ってなかったのに
こんなにもすごいとは驚いた。



168年前の
決壊の被害が思ったより軽く、
今現在このような事態がおこればと思うと
とても考え及びません。
決壊しない事を祈るばかりです。



ふれあい交流会を開催しました。



11/5(土)、3年ぶりに楽集館にて「ふれあい交流会」が開催されました。

楽集館あったかネット役員の方々をはじめ、本年度は母子愛育会の協力の下、象郷地区の子どもたちと保護者の方が多数参加して下さいました。

象郷地区ならではの「もみ殻」を使っての焼き芋においては、子どもたちをはじめ、保護者の方々にも大好評でした。

このような交流会を通して、子どもから高齢の方まで幅広い年齢層の方々が「地域の中で結びつく」一つの手段となればいいなと思いました。



地域防災セミナーを開催しました。



10/28(金)、日本赤十字社香川県支部の協力の下、象郷地区の民生委員・児童委員、福祉委員・自治会長の方々を対象とし地域防災セミナーを開催しました。

今後南海トラフ地震など大規模災害の発生が予測されている中で、「防災に対する意識・知識を高める事が出来てよかった。」とのお声をたくさん頂く事ができました。



シャントセナ (福祉ことひら合併号)

No.241 (令和5年3月号)

子ども食堂がはじまります

日本キリスト教団琴平教会の皆さんが、ひとりぼっちのごはんを少しでも減らし、あたたかいごはんをおなかいっぱい食べさせたいという思いから子ども食堂をはじめます。こどもがひとりでも安心して過ごせる食堂です。ぜひお越しを!



日時: 令和5年4月22日(土) 11:30~12:30
5月以降も毎月第4土曜日に開催します。

主催: ことひら子ども食堂実行委員会

場所: 日本キリスト教団琴平教会 (琴平町櫻井387-6) 名称: ことひら子ども食堂
会費: 子ども100円、高校生以上300円 (事前予約制) TEL0877-75-1810

ステーション行事予定表 (3/12~4/15)

3/12	13	14	15	16	17	18
こんぴら朝市 9:00~12:00 (予定)		・生かがいデイ (予定)	井筒土曜祭	・生かがいデイ (予定)		
19	20	21	22	23	24	25
				・生かがいデイ (休務)	野原委員会	
26	27	28	29	30	31	4/1
こんぴら朝市 9:00~12:00 (予定)		・生かがいデイ (予定)				
2	3	4	5	6	7	8
		・生かがいデイ (予定)				
9	10	11	12	13	14	15
こんぴら朝市 9:00~12:00 (予定)		・生かがいデイ (予定)		・成年後見 相談会(来予約) ・生かがいデイ (休務)		

☆4月の弁護士相談(要予約)は4月19日(水)です。
※新型コロナウイルス関連の動向で予定変更する場合があります。詳細はHPをご確認ください。

ちよっとこ場行事予定表(3/12~4/15)

日	月	火	水	木	金	土
3/12	13	14	15	16	17	18
			ひだまりクラブ			
19	20	21	22	23	24	25
	NikoNiko (琴線)		豊作会 (琴線) 10時~			
26	27	28	29	30	31	4/1
			豊作会 (琴線) 10時~			
2	3	4	5	6	7	8
	NikoNiko (琴線)	スマホ教室 10時~	豊作会 (琴線) 10時~			
9	10	11	12	13	14	15
			豊作会 (琴線) 10時~			

※ちよっとこ場では、留守番をしてくれるボランティアさんを常時募集しています。
※買い物支援運転ボランティアさん、ちよっとしたお手伝いボランティアさん募集しています。

成年後見相談会を実施します。

4月から毎月第2木曜日に、成年後見相談会を実施することになりました。ちょっと物忘れが出てきて、諸々の支払いができなくなってきたなど、ちょっとした気になることを専門職に気軽に相談できます。

第1回目 4月13日(木) 13時~15時
次回から毎月第2木曜日 13時~15時
※予約制(琴平社協:75-1371まで)です。
※相談時間は30分間です。
場所: 琴平町社協 相談室

楽集館利用予定表 (3/12~4/15)

日	月	火	水	木	金	土
3/12	13	14	15	16	17	18
予約済	予約済		予約済			
19	20	21	22	23	24	25
	予約済		予約済			
26	27	28	29	30	31	4/1
	予約済					
2	3	4	5	6	7	8
	予約済					
9	10	11	12	13	14	15
	予約済					

地域のお宝人材 突撃インタビュー

【楠木泰二郎さん】



現在、どのような活動を行っているのですか?

2022年10月からmobiを琴平町に導入し、町内の流通の活性化に取り組んでいます。月定額のタクシーのようなもので、ご高齢の方の日常の買い物支援や塾の送り迎えの補助など、幅広い層や用途に期待が持てると思っています。発展形として地元の野菜をホテルなどに運ぶモビリティとしても構想しています。地産地消も売りになる琴平町になるように期待もしています。

今回ご紹介するのは琴バスの代表取締役も務めている楠木泰二郎さんです。

自社の特徴であるモビリティの強みを活かして琴平町をさらに盛り上げることに尽力されている方です。

その他、付き合ってみると面白い人に溢れている町なので、地域の方と観光客がつながり、何度でも来なくなる町を目指して様々な活動を行っています。町内がもっと盛り上がるように頑張ります。

【mobi】月定額制で町内なら何度でも利用できるミニバス。

【オンラインバスツアー】第4回日本サービス大賞において地方創生大臣賞を受賞したサービス。Zoomを活用し、参加者は画面を通じてバスツアーに参加しているようにライブ中継もおりませながら現地の方との触れ合いや疑似体験ができる。



R4年度 共同募金(法人募金企業)ご報告

桜の抄
にしきや本店
琴参閣
中讃クリーン
宮武商店
琴平塗装(株)
浜田眼科医院
岩崎医院
岩佐病院
京兼醸造(株)
松浦餅店
ミヨシ電化
琴平工具
老人の家

山西桂華堂
国際ホテル八千代
こんぴら石油(株)
西山食肉店
服部商店
おおにし病院
大浦内科・消化器科医院
森内科医院
やまもと耳鼻咽喉科
金毘羅醤油
春日館
コトヒラ公益社
ナガレ
さぬき名物骨付鳥 田中屋

池田内科医院
名物かまど
天狗堂
中野屋本店
大中仏壇店
船岡建設
都村製作所
塩田歯科医院
丸尾醸造所
五条眼科医院
岡田工業
藤田自動車
道久テレビサービス店

3,000円以上の募金をいただいた法人企業様を掲載させていただいています。ありがとうございます。

順不同/敬称略

琴平応援プロジェクト

【応募のあった所を取材させていただきます!!】

みんなの掲示板

「福祉ことひら」で琴平町の気になる事や情報を発信していきたいと思ひます。

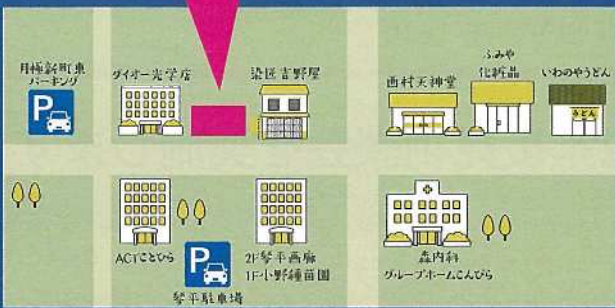
Vol.007

琴平まちづくりプロジェクト「事開く日々」

ひなこうじ

「雑麴」

店主の金子さんは、琴平町活性化に向けた取り組みの熱い想いに共感し、「琴平まちづくりプロジェクト」に参加されたそうです。



住所／仲多度郡琴平町285

時間／毎週水曜

11:00～14:00



取材希望の方は
お問い合わせ下さい。

問合せ 琴平町社会福祉協議会 ☎ 0877-75-1371

今回は、雑麴の金子広奈さんにお話を伺いました。観音寺市の入江麴製造所の室本こうじの甘酒に惚れ込み、山口県から通われるうちに香川県で移住をされるようになりました。

今では、毎週水曜日の11時から14時に地図の場所にて出店をしています。

店主へのインタビュー



Q1:甘酒の魅力??

大量生産が工場のラインで作られる甘酒とは違い、米こうじ、米、水のみを使い昔ながらの製法でお作りしています。保存料、添加物ゼロなのでお子様にも安心です。本来のこうじ甘酒の味わいをお楽しみいただけます。

また、江戸時代から夏バテ対策であったり、飲む点滴とも言われており栄養価はとても高いです。他、デトックスや美肌、便秘改善にも効果があります。

Q2:お店にはどんな商品がありますか?

季節によって違いはありますが、基本は甘酒です。特筆するのが、フルーツの甘酒をはじめフラペチーノやフローズンがあります。食べ物では、なんと甘酒のキーマカレーもあります。キーマカレーについては、出店に応じて入荷する野菜が違うので、その日に応じて変わってきます。毎週毎週が、とても楽しみです♡

季節や気候によっていろんな味のいろんな状態の甘酒が楽しめることはとても魅力的です。



Q3:読者の方へのメッセージをお願いします。

週末マルシェで販売していることが多いです。ここ、琴平町でも商店街で皆様がお買い物ができると思います出店しています。ここ香川県、琴平町でたくさんの元気をもらったので、是非甘酒を飲んでもらい元気を出してもらえればと思います!!

善意の寄付

令和4年11月1日～令和5年2月28日まで

皆様からの善意の寄付は琴平町の地域福祉に有効に活用させていただきます。厚く御礼申し上げます。

一般寄付として



○匿名 様より	5,000円	○吉田 武人 様より	300,000円
○一般社団法人仲善教育会	様より	○匿名 様より	800円
	17,664円	○匿名 様より	514円
○匿名 様より	10,000円	○匿名 様より	5,000円
○匿名 様より	750円	○匿名 様より	14,300円
○匿名 様より	1,286円	○匿名 様より	9,600円
○匿名 様より	2,942円	○匿名 様より	金一封

香典返しとして

○西村 朋憲 様より 30,000円

使用済み切手・テレカ・入れ歯 収集ボランティア

令和4年11月1日～令和5年2月28日まで

使用済み切手・テレカ・入れ歯収集ボランティア・物品寄付にご協力いただきまして誠にありがとうございます。お野菜・果物等のご寄付も頂いており、給食サービスに活用致しております。

- 岡田工業 様
- 川上板金工業所 様
- ナカノヤ琴平 様
- 榎井婦人会 様
- 三好 秀子 様
- 灸まん本舗 様
- てんてこ舞 様
- 弘栄社 様
- 匿名(2件) 様

